

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	株式会社TDEC
2 貴社の取組状況について	<p>(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景 2022年の育児休業法改正に伴い、社内制度を整備し、全社展開したことが取得促進のきっかけとなりました。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 育児休業法改正に伴い、改正内容と相談窓口について全社展開しました。本人または配偶者の妊娠・出産を申し出た社員に対して、育児休業制度等に関する説明と休業の意向確認を個別に行いました。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 育児休業取得予定者から、職場の理解について不安があるとの声があったので、男性育児参加・育児休業に関する管理職教育を実施し、理解促進を図りました。また、社長自ら研修に参加することで、会社として男性の育児休業取得促進に取り組むという強いメッセージになりました。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 育児休業制度等に関する説明時や意向確認時にヒアリングした内容（取得予定期間等）を職場関係者に随時共有し、業務がスムーズに引継がれるよう案内を行っています。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 男性育児休業取得者の経験談を社内報に掲載し、男女ともに育児を両立できるようなイメージを醸成しています。社内報には、具体的に以下の内容が記載されています。 ◇育児休業を取得するきっかけ◇育児休業中に大変だったこと◇これから取得を考えている従業員へのアドバイス</p>

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 14 日間
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 今年3歳になる上の子で一度育児を経験していて、特に出産後1年間は育児が大変と分かっていたため、少しでも妻の負担を減らしたいと思い取得しました。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 妻の負担を軽減することができた事と、家族4人の時間を作ることができた事が良かったです。また、一時的に仕事から離れる事で自分自身がリフレッシュする事ができました。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 引継ぐ仕事内容が中途半端だと、引継ぎ側の作業が円滑に進まなくなる等の困り事が出てくると思い、切りのよいところまで引継ぎすることを意識しました。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 同僚とのコミュニケーションです。また、育児休業を通じた経験を今後お子さんが生まれる方や生まれた方へのアドバイス、相談に乗るなどもしていけると思います。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 1人目の時に夫婦ともに慣れない事が多く、良く喧嘩をしていました。今回育児休業を取得し、妻の負担がどれほど大きい事なのかを理解する事ができ、改めて自分と家族に対し向き合える時間ができ、とても良かったと思います。</p>